

黒潮町総合防災訓練

9月4日は、黒潮町総合防災訓練の実施予定日でしたが、台風12号の影響が懸念されたため、中止となりました。

避難訓練や情報伝達訓練、各自主防災組織毎の訓練は、できませんでしたでしたが、必ず来ると予想されている南海トラフ巨大地震に備えて、家族・地域で話し合い、計画を練ることから訓練は始まっています。

また、それらの訓練を定期的に行い、検証することで、新たな課題や気付きが生まれます。

日本一厳しい津波高の発表を受けた黒潮町ですが、災害想定を正しく受け入れ、今後も、皆さんで防災意識の高い町をつくっていきましょう。

総合防災訓練前日は 町職員避難訓練を実施

総合防災訓練の前日9月3日、業務中に南海トラフ巨大地震が起きた想定で町職員避難訓練を実施しました。

午前中は、高知気象台の講師を招き、緊急地震速報について学んだ後、本庁ならびに佐賀支所にて、実際の緊急地震速報の音源を活用し、避難訓練を行いました。

当訓練に、皆さんのご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。



緊急地震速報をご存じですか？

想定されている南海トラフ巨大地震が発生した場合、最初に襲うのは経験したことのない想像を絶する強い揺れです。

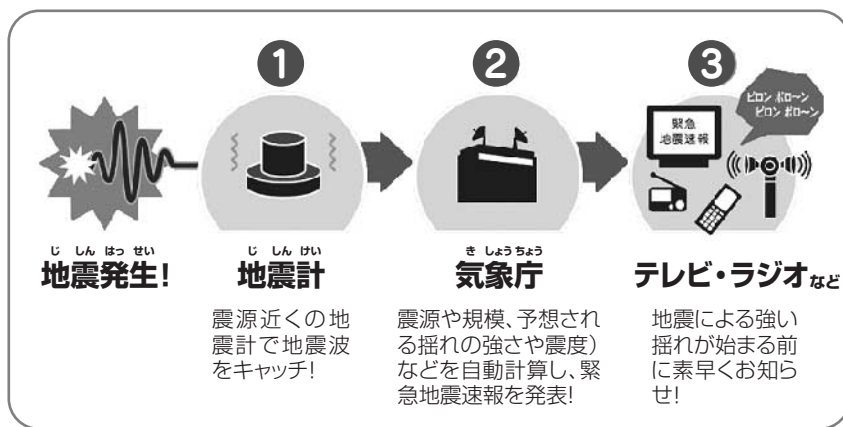
この強い揺れから身を守るためには、『住宅や建造物の耐震化』、『家具などの転倒防止』、『非常持出し袋の準備』などの事前の備えと、実際に地震が発生した際の強い揺れの到達を知らせる『緊急地震速報を活用した適切な行動』が極めて重要と言われています。

しかし、緊急地震速報の内容の理解やテレビ・ラジオ・携帯電話の音の認知度は低く、実際に、見聞きした場合の身を守る行動がとられていないのが実情です。

※緊急地震速報とは…

南海トラフ地震などの強い地震が発生した場合、地震発生場所や強い揺れの到達地点にもよりますが、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り、早くお知らせする情報のことです。(下記参照)

緊急地震速報が発表され、強い揺れが到達するまでに10数秒から数10秒の猶予があるとされています。この間に、身を守る行動をとることにより、自分の命だけでなく、家族の命も守ることができ



お問い合わせ

【本庁】情報防災課 消防防災係

☎43-2188 (課直通)

【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第1係

☎55-3113 (直通)